



【2018年簡易版】

第1回フードバンクこども支援プロジェクト報告書

特定非営利活動法人

**セカンドハーベスト京都**

# 第1回フードバンクこども支援プロジェクト報告書 (簡易版)

## 1. プロローグ

私たちが学校教職員の方々とお話をする際に「夏休みがあげてくると痩せてくる子どもがいる」というお話を伺う機会が何度となくあり、私たち“フードバンク団体でできること”を考えたときに、フードバンク山梨で実施されていた「フードバンクこども支援プロジェクト」の存在を知り、それを京都でも行いたいと思いました。

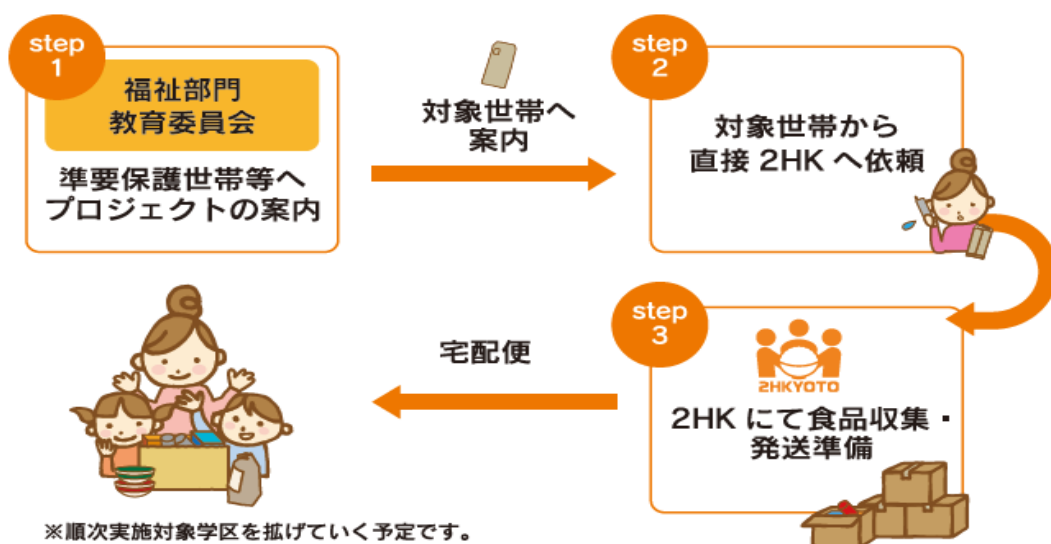
そのための費用として独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成を受けることとし、不足分の配送料はクラウドファンディングを実施して補填、という予算計画を立てました。

## 2. プロジェクトの計画立案

本プロジェクトの成否は低所得者の子育て世帯の情報をもっている教育委員会や行政の協力がなくては絵に描いた餅になってしまうのですが、多方面の方々のご尽力のおかげで協力を得ることができました。（他県ではここで躓いてしまうことが多いようです）  
本年は3つの市にアプローチしましたが、そのうち2つの市より協力を頂けることになり、京都市（1小学校の要保護世帯と準要保護世帯）と八幡市（1小学校の準要保護世帯と市内の児童扶養手当利用世帯）で実施することに致しました。

## 3. プロジェクトのスキーム

今回は試行ということもあり、3つの方法で対象世帯に案内を行いました京都市では、小学校から普段、保護者との連絡に使用されている「通い封筒」に対象世帯にのみプロジェクトの案内を封入して頂きました。八幡市の小学校では夏休み前の三者懇談時に学校に配架して頂き、福祉部の生活支援課からは郵送して頂き、子育て支援課では窓口配架と冬休み前は追加で郵送して頂きました。



※順次実施対象学区を拡げていく予定です。

## 4. 案内文配布数と配布方法

保護者への案内文と申込書の配布は

- ・京都市（1小学校）→150部（夏冬の2回）  
対象世帯：生活保護受給世帯（要保護）  
就学援助受給世帯（準要保護）  
配布方法：対象世帯に通い封筒にて学校から生徒へ配布
- ・八幡市（1小学校）→250部（夏のみ）  
対象世帯：就学援助受給世帯（準要保護）  
配布方法：三者懇談時、自由に持ち帰り頂く
- ・八幡市（福祉部）→800部（夏冬の2回）  
対象世帯：児童扶養手当受給世帯（ひとり親世帯 要保護・準要保護含む）  
配布方法：子育て支援課→①窓口で自由に持ち帰り頂く（夏）  
②対象世帯に郵送（冬）  
生活支援科→児童扶養手当の自宅へ郵送（夏）

## 5. 食品の収集

今回使用した食品は以下の皆様のご協力を頂きました。（順不同）

- ・京都市左京区 辻本様
- ・京丹後市 吉岡様
- ・京都市左京区 清水様
- ・城陽市 鹿野様
- ・IQVIAジャパングループ様
- ・学校法人龍谷大学農学部様
- ・コストコホールセールジャパン株式会社京都八幡倉庫店様
- ・品川インターシティマネジメント株式会社様
- ・明治ホールディングス株式会社様
- ・京阪ホールディングス株式会社様
- ・マルコメ株式会社様
- ・近畿経済産業局様
- ・匿名希望企業様
- ・フードドライブにご協力頂いた府民の皆様



## 6. 広報（メディア掲載）

- (1) プレスリリース発表（6月6日・7月17日・12月10日）
- (2) 新聞
  - ① 京都新聞7月22日朝刊掲載
  - ② 読売新聞7月25日朝刊掲載
  - ③ 京都新聞8月11日朝刊掲載（山城版）
  - ④ 公明新聞8月25日掲載
  - ⑤ 毎日新聞12月16日朝刊掲載
- (3) ラジオ KBS京都ラジオ 8月13日放送  
「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」 理事長出演
- (4) テレビ NHK おはよう関西 8月16日放送 理事長出演
- (5) ポスター掲示（順不同）
  - ・ 月桂冠株式会社様
  - ・ ワコール株式会社様
  - ・ 公益財団法人京都オムロン地域協力基金様
  - ・ 株式会社SCREENホールディングス様
  - ・ 京都生活協同組合様
  - ・ 神崎法律事務所様
  - ・ 木内総合法律事務所
  - ・ あかね法律事務所様
  - ・ 涼風様（喫茶店）
  - ・ 有限会社スタジオアイ様
- (6) チラシ、団体案内配布
  - ・ 京都商工会議所様
  - ・ 京都ライオンズクラブ様

## 7. クラウドファンディング

「CAMPFIRE」のサイトで“京都初「フードバンクこども支援プロジェクト」を成功させたい！”と銘打ち6月21日～8月31日まで実施しました。目標125万円に対し18万8千円と大幅に届かなかったのは、同タイミングで大阪府北部地震や台風などで甚大な被害が広範囲に発生したのが大きな要素と考えています。



## 8. 申込数（出荷数）

	夏	冬 (追加)	合計
京都市（小学校）	26	10	36
八幡市（小学校）	7	募集なし	7
八幡市（福祉部）	24	118	142
合計	57	128	185

※夏は57件、冬はそれに128件加えて185件の出荷を行った。

## 9. 出荷作業

本プロジェクトで出荷作業を手伝って頂ける団体を探していたところ、京都市ごみ減量推進会議普及啓発実行委員会委員長中田富士男様の紹介で、京都府立京都八幡高等学校南キャンパスの副校長の中村様におつなぎ頂き、協力要請したところ、快諾頂き、同校ボランティア部が協力して頂けることになりました。

### 【作業人数】

7月21日：16名 8月11日：13名 12月22日：18名



## 10. プロジェクト申込書とアンケートから

今回、立命館大学 産業社会学部 現代社会学科の石田賀奈子准教授に監修して頂き、プロジェクト利用者へアンケートを行いました。

そのうち夏実施分のアンケートから利用者の声を抜粋しました。

### (1) 申込用紙から

**20代女性：**2月に離婚しひとり親になりました。小学生二人、保育園児二人がいます。私は仕事を週三回行ってはいますが、月平均四万円です。不足分のお金は生活保護でなんとかやっています。

**30代女性：**今年5月に主人が交通事故にあっけし、6月～の所得が私のみの仕事（パート）になってしまいます。節約するとなると食費が1番に出てきたので、申し込みをしようとおもいました。

**40代女性：**母子家庭。父親（子から見た関係）からの養育費はなし。進学にあたっての制服代などの出費で3ヶ月間、生活の状況が厳しいです。両親も他界しており身寄り無しです。

### (2) アンケートから

**30代女性：**とても助かりました。家族みんなで大喜びでとても盛り上がりました。ありがとうございます。

**40代女性：**普段は生活に必要な最低限の物を購入し、子供たちには我慢させている事が多々ありますが、今回子供たちが欲しかったけど手に入れた事がなかった物があり喜びその姿を見て、私も又これからも頑張ろうって気になれたし、何よりありがたかったです。

**40代女性：**夏の2回、子供達が受け取って私が仕事から帰ったらみんなで何が入ってるかを楽しみに箱をあけさせてもらいました。疲れて作る気はもちろん食べる気にならない時でも、子供達に「こないだ来たやつどれ食べる？」とコミュニケーションをとりながら乗り越えることができました。次回も楽しみにしています。

## ◆クラウドファンディングにご協力頂いた皆様（順不同）

- ・岐阜県 今村 咲様
- ・京都府 hana様
- ・三重県 中野 耕次様
- ・京都府 川辺 陽子様
- ・京都府 浅田 和利様
- ・京都府 古川 真様
- ・東京都 土橋 淳様
- ・和歌山県 秋岡 安様
- ・奈良県 桂 浄薫様
- ・京都府 澤田 敏子様
- ・大阪府 武田 知記様
- ・滋賀県 他1名様
- ・弁護士法人伏見綜合法律事務所様
- ・株式会社ローレル京都様

◆最後に 本年、京都で初の「フードバンクこども支援プロジェクト」を実施しました。セカンドハーベスト京都が団体立ち上げ当初より「こどもの貧困」にコミットすべく「こども食堂」各団体を支え、また自らも運営してきた中でいわゆる「貧困コア層」にはほとんどの場合、届いていない、という実感をもつに至り、模索していた中でフードバンク山梨が実施した「フードバンクこども支援プロジェクト」の存在を知りました。

最初聞いたときには「行政や学校の協力を得て進めるものである」ということに、とてつもなく高い壁を感じ、また宅配する予算も宅配件数に比例して大きなもので、プロジェクトの各方面への協力要請と平行して予算を確保しなければならず、ものすごく綱渡り感が強く不安な状況にありました。ですが、京都市教育委員会、八幡市福祉部、八幡市教育委員会、府立京都八幡高等学校南キャンパスをはじめ多くの市民に支えられながら、食品の提供者もすこしずつ現れてなんとか夏2回、冬1回の出荷を終えることができました。ご協力頂いた皆様には本当にありがとうございました。

私どもの活動では「貧困」をなくしたりをすることはできません。ですが今、困っているであろう見えないところに、確実にいる子どもたちへ、学校のないお休みの期間中に食べ物がなく辛い思いをさせることは少しでも「低減」できるのだ、と思って多くの壁を乗り越えて取り組んできました。今手元には冬のアンケート結果が届き始めていますが、「とても嬉しかった」「とても、とてもありがたいです」等々多数の声に励まされ、設立3年目の団体にはかなりの背伸びした活動ではありましたが、これを起点に、来年よりは更に多くの経済的にしんどいおもいをしている子育て世帯に届けられるよう努めてまいりますので、どうか、これからもご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2018年12月30日 特定非営利活動法セカンドハーベスト京都  
理事長 澤田政明